

作成 令和3年11月15日

摂津市議会議員 松本暁彦

令和3年第3回定例会一般質問 ～本会議2日目 令和3年10月29日～  
議事録（抜粋）

3 コロナ対策での経済活性化について

**質疑概要**

コロナ禍において今年4月に経営相談支援のためのビジネスサポートセンターを立ち上げており、その運営状況について確認するとともに、多くの市内経営者が心配される緊急事態宣言後のお客さんが戻ってくるか心配という声も踏まえ、市としての経済支援策について取り上げた。

○松本議員

次にコロナ対策での経済活性化について、10月25日から飲食店の時短も終了するなど、徐々に平素の生活へと戻りつつありますが、まだまだコロナ禍で様々な事業者が影響を受けています。

そのような中で取り組まれたビジネスサポートセンターの運営についてお聞かせ下さい。

(略※)

○南野議長

生活環境部長

○松方生活環境部長

本年4月から、南千里丘別館にビジネスサポートセンターを開設し、経営改善コンサルタント駐在させ、市内事業者の様々な経営相談に対応いたしております。新型コロナウイルス感染症が長期化する中、7月からは、ウィズコロナ・アフターコロナを見据え、相談日を増やし、週2回の相談体制に強化いたしております。

現在、同センターでは、1日3枠の相談枠に対する予約率は、100%に近く、また、業種もサービス業、製造業をはじめ、様々な事業者にご利用いただき、相談に対応している状況でございます。

これまでの相談内容といたしましては、やはり新型コロナウイルス感染症の影響に

[想いを言葉に、言葉を形に、形から実践へ。]

関連するものが多く、自社製品の開発支援、クラウドファンディング、ホームページを活用した販売促進や販路開拓の支援、事業の再構築の相談等がございます。

また、同センターの特色といたしまして、事前相談の段階から相談カルテを作成し、相談者の悩みをお聞きする中で、相談者が持つ強みを活かしながら、課題の解決に向けて伴走型で取り組んでおり、相談後のフォローまで事業者に寄り添った相談支援を実施いたしております。

(略※)

### ○松本議員

最後に、コロナ対策での経済活性化についてビジネスサポートセンターは、設立からまだ半年ですが、有効なものと理解しました。

是非、この取組みは商工会と連携し、継続、発展させるよう要望致します。

そのうえで、市として、せつつすぐれものをふるさと納税の返礼品とし、中小企業支援を拡大するよう改めて要望致します。

また飲食店等からは平素に戻った場合においても、お客さんが戻ってくるのか心配との声があります。その点、どう対応されるのかお聞かせください。

### ○南野議長

生活環境部長

### ○松方生活環境部長

コロナ禍におきまして、市内飲食店等では厳しい経営環境が続いております。

今議会におきまして、市内飲食店をはじめ小規模商業者へのさらなる支援策について、補正予算をお願いしておるところであります。

まず、セッピースクラッチ事業の予算を倍額し、スクラッチカードの当選確率を倍増することで市民の方々に市内飲食店や小売店等を利用していただき、消費を促してまいります。

2つ目に、大阪府が創設した飲食店を受ける感染防止対策のさらなる促進のための認証制度であります「ゴールドステッカー認証制度」を活用し、市内飲食店に規制緩和された人流への感染対策の適切な実施を促し、地域経済の復調のきっかけとしていくために、市内のゴールドステッカー認証店舗のPRを行います。

具体的には、ゴールドステッカー認証店舗の情報を整理し、独自のホームページを立ち上げ、店舗情報の発信を行います。また、ゴールドステッカー認証店舗のPRチラシを作成し、市内に全戸配布いたします。このチラシには、認証店舗で利用できます割引クーポン券を掲載し、市民の方に安心して飲食を楽しんでいただきながら、市内飲食店の利用促進と消費を喚起して参ります。

[想いを言葉に、言葉を形に、形から実践へ。]

○南野議長

松本議員。

○松本議員

市としても厳しい経営環境をサポートということ取り組みは理解しました。  
なお、ゴールドステッカー店への対応については、どんどんコロナの規制緩和が進んでいる中、少しでも早く、**時期を逃さぬよう**取り組むことを要望致します。

(音声データ等より作成)

重要と思われる部分には強調を入れています。

※当該質問に関係のない他の質問項目の部分は省略しています。

<質問項目一覧>

- 1 防災政策について
- 2 学力向上等への教育政策について
- 3 コロナ対策での経済活性化について**
- 4 地域共育での孤立家庭防止について

[想いを言葉に、言葉を形に、形から実践へ。]